

Fresh Talk

～ フレッシュトーク ～



雄武町役場保健福祉課保健係

保健師 ^{やました} ^{りさ} 山下 里紗 さん

「皆」さんが病気になるように、予防面などでサポートしていきます」と力強く話してくれたのは、旭川市の看護学院卒業後、4月から役場保健福祉課保健係の保健師として勤務する山下さん。

「保健師としての仕事は、健康相談や乳幼児健診、家庭訪問など地域の人と直接関わることが多いです。人と関わり相談を受けたときなどは学ぶことも多く、やりがいを感じます」と充実しているようです。

「母親が看護師だったことや家族が病気を経験していたことをきっかけに命を救う仕事に就きたいと考えていました。保健師になろうと明確に意識したのは、看護学校の実習をとおして、病気になるように予防などで健康を守るサポートをしたいと感じたことからです」と保健師になったきっかけを話してくれました。

当麻町出身の山下さんが雄武町を知ったのは、就職説明会に来ていた町職員の話聞いたことからでした。そのことをきっかけに雄武町を訪れた山下さんは、海や自然の綺麗な景色や対応した職員の人柄に心ひかれ、「ここに住んでみたい、働いてみたい」と感じたそうです。

プライベートでの山下さんの特技は小学校5年生から始めたトランポリン。学生時代に全道大会で優勝したほどの実力で、働くようになった現在も滝上町のトランポリン団体に所属し、各種大会に出場するなど技術を磨いているそうです。

仕事の目標は「心配なことなど皆さんと一緒に考えてお力になりたい」と思っています。信頼されて気軽に声をかけてもらえるような保健師になるために頑張ります」と話す山下さんの今後に期待です。

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかがげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくりま
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくりま
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくりま
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくりま
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和46年3月19日制定

▼インフルエンザやかぜが流行しているようで、取材先でマスクをした人を多く見かけるようになりました。気をつけていてもうつってしまうことがあります。うがい、手洗いなどで予防をしていただければと思います。私も休日は人の集まる場所を避けて、家でくつろぎたいと思います。（大辻）

◆編集後記

Editor's note

▼平成から令和に年号が変わった今年も残すところあと1か月となり、皆さんも何かと忙しい毎日をお過ごししているのではないのでしょうか。今年を振り返ると、全国各地で災害の多い一年となりました。来年は皆さん一人ひとりにとって穏やかな年になるよう願うばかりです。（池田）